平成 22 年度都道府県 IYEO 役員研修の目的と基本方針

＜目的＞

都道府県 IYEO の活動基盤の充実を図ることにより、全国組織としての組織基盤の確立を目指して人材育成の一環として行うものである。今年度は、活動方針にそった活動を具体的に推進するにあたって必要な運営能力の向上を目指したプログラムを組み立てること、特に考えて組み立てる力を身につけることを目指した研修とする。

「社会に活力を与えられる人材育成を目指して」

変化の激しい現代社会においては、これらの変化に対応し幅広い視野を持って新しい取り組みを考え、実行できる人材が必要とされている。このような現状を踏まえて、50 年を超える内閣府青年国際交流事業で培われた青年育成のノウハウと日本青年国際交流機構で築き上げたネットワークをいかした人材育成に取り組む。

1. 青年層活性化の基盤づくりに取り組もう

現代の青年の社会活動へのニーズを把握して、青年の活動の場作りと環境整備に取り組み、青年による社会の活性化を目指す。

2. 地域社会に貢献できる人材育成に取り組もう

地域における国際交流活動を積極的に行い、地域と世界の距離を狭めると共に、地域のニーズに合った貢献が果たせる人材の育成に努める。

3. 国際ネットワークをいかした国際協力活動に取り組もう

国内外における様々な課題に対応するため、半世紀にわたって築いたネットワークを活用して国際協力活動を推進し社会に貢献していく。

テーマ 「時代をつかみ、今を超える。」

都道府県 IYEO 役員研修では、各地域で時代に合った活動を発案、展開していくうえで必要な視点を養い、それを具体的に実践できる人を育成することを目指す。また、その動きが IYEO 全体にとって新しい風を生むことをねらう。

そのために、都道府県 IYEO の役員として必要な考え方やノウハウを身につけ、幅広いネットワークを構築して、参加者それぞれが、研修後に変化の一歩を生み出すことをねらう。

＜研修の流れ＞

1　IYEO についての理解を深めるための全体会（概念整理、体験学習）
2　実践のヒントとなる分科会
3　振り返り（どんな変化をあなたは生み出しますか？）

＜全体会＞

IYEO の組織の概要について学ぶとともに、青少年を取り巻く現状と、IYEO に求められている役割を考える。

＜分科会＞

A.プログラム企画立案	プログラムの発案から、企画立案、そのプログラムの目的とねらいに焦点を当てて、実際にプログラムを作り上げながら学びます。今回は、助成金申請や他団体との連携を意識して実施します。
B.IYEO を使いこなす	IYEO の基本的な情報、一年の活動について理解・整理し、具体的に事務手引きの活用方法について学びます。今年度ブロック大会、事業受入などを予定している都道府県 IYEO にはお勧めです。
C.IYEO 的広報	広報とは何かを学ぶとともに、IYEO らしい広報について考え、効果的なツールの活用について体験します。